

★その城壁の頂きに恐る恐る檸檬を据えつけた

『檸檬』

ゕゖぃ もとじろう 梶井 基次郎 作 新潮文庫 2003年



心の中に不吉な塊を抱えた私は、何かに 追い立てられるようにして街から街へと が着っていた。そんな中、私は果物屋で檸檬 を見つける。あの色、恰好、冷たさ、そして 香り。ごくありふれた檸檬との出会いが憂鬱 さを紛らし、近頃避けるようになっていた本 屋「丸善」へ再び入ってやろうと私は思い立 つ。そこで私は一つの悪戯を仕掛ける。その 内容を知るのは、私とこれを読んだあなただ け。



ぼくが生活しているのは、白い月が一日中同 じ場所に浮かんでいる小さな島・ハピネス島の ホテル。自分の名前もなぜこの島にいるのかも わからないまま、顔と手足がカエルのオーナー や、しゃべる百科事典ビブリオと毎日を過ごし ている。なかなか記憶がよみがえらないことに もどかしさを感じるぼく。ある日偶然見かけた、 黒い服のひとが気になったぼくは、オーナーが 止めるのも聞かずに後を追って、正体を探ろう とするが…。

★満月に近い丸みを帯びた黄色い月。 ぼくはそれを知っている。

『白い月黄色い月』

石井 睦美 作 講談社 2006年

★その日の午後、ジュリーは髪と同じ色あいの 黄色のドレスを着て待っていた。

『たんぽぽ娘』

ロバート·F·ヤング 作 河出書房新社 2013 年



妻のいない夏休み。暇を持て余していた中年 男マークは、丘の上で、「タイムマシンで未来か らやってきた」というたんぽぽ色の髪の娘ジュ リーと出会う。同じ趣味を持ち、なぜか懐かし さを感じさせるジュリーと惹かれ合うマーク。 毎日会って楽しい時間を過ごすが、突然、彼女 は姿を見せなくなってしまう。それにはある秘 密が…。

『ビブリア古書堂の事件手帖』に登場し、注 目された SF 小説。



カレーを通してみんながハッピーになる瞬間 を生み出したい!

5歳にして本場の味と出会い、インドやイギ リスへの旅でカレーの歴史と広がりを実感した 著者。現在は出張調理ユニット「東京カリー番 長」を結成。毎回、イベント限定の新作力レー をふるまい、参加者との一期一会を楽しんでい

年間500食というペースで10年以上食べ 続け、カレーによるコミュニケーションを追求 する著者の語るカレー愛燃えさかる1冊。

★ノーカリー、ノーライフ!

『カレーになりたい!』

水野 仁輔 作 理論社 2008年

★たぶん全員が、手を挙げてくれていた。

それもみんな、ちょっと嬉しそうな顔をしながら。

まるで、このクラス自体が、ヒマワリ畑になったような――。

『世界でいちばん長い写真』

ほんだ てつや 誉田 哲也 作 光文社 2010年



中学3年の夏、親友が転校してから、やる気も 元気も出ない宏伸。

ある日、お祖父ちゃんのリサイクルショップで 機関銃みたいに大きな改造カメラ"グレート・マ ミヤ"に出会った。このカメラで撮影するベスト な被写体は?消極的だった宏伸が、学校をも巻き 込んで"世界一"を目指し始めた。

「僕にも何か、できる気がしてきたよ。やって みる気が、出てきた気がする。| 宏伸の清々しい成



黄色のボディが印象的な「新幹線電気軌道 総合試験車」。その愛称はドクターイエロー。彼 の仕事は「電気」や「軌道」などの新幹線が走 るための設備の状態を、実際に線路を走りなが ら検査・測定することだ。そうは言われても、 「電気」って?「軌道」って?いったい何をど う検査・測定するの? それに黄色の新幹線なん て見たことないよ!「まぼろしの新幹線」、ドク ターイエロー。はたしてその正体はいかに!

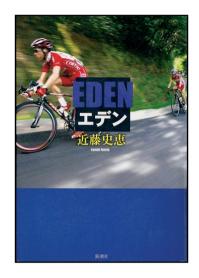
★時刻表にものっていない、たくさんのなぞにつつまれた「ドクター イエロー | のひみつをさぐる旅に、みなさんをご案内しましょう!

『みんな知りたい!ドクターイエローのひみつ』

飯田 守 作 講談社 2014年



マイヨ・ジョーヌ。ツールの総合リーダーが身につける黄色い特別なジャージ。 最終的にパリでそれを着た者が、ツールでの勝者となり、その歴史に名を残すことになる。(本文より)



自転車ロードレースを題材にしたシリーズの2冊目。他の3冊(『サクリファイス』、『サヴァイヴ』、『キアズマ』)もおすすめ!



『 エデン 』

近藤 逆恵 作 新潮社 2010年

世界最高峰の自転車ロードレース、ツール・ド・フランスに挑むことになった白石誓。そのとき、チームは解散の危機にさらされていた。

個人でいい成績を残せたら、他のチームが誘ってくれるかもしれない。でも、エースを優勝させるために協力して走れば、今のチームで黄色いジャージを手にできるかもしれない…。 どちらを目指すか迷う誓に、監督はある方法でチームを守ろうと持ちかける。さらに、レースを揺るがす事件が起こって…。

3週間にわたり、3000km以上の道のりを 走り続ける男たちの、熱い、暑い夏の物語。

2015 ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム、あります。

ツール・ド・フランスで活躍した選手たちが集結! 10月24日(土) 10:00~ ※レースは13:10~ さいたま新都心駅周辺に行ってみよう! マイヨ・ジョーヌも見られるかも?



自然、食べ物、乗り物…、今回はさまざまな「黄色」が出てくる本を7冊集めました。 木々が色づくこの季節に、あなたも身近な「黄色」を探してみませんか?

次回 予告

はぴ31号(1月発行)のテーマは





このブックガイドは 2,000 部作成し、1 部あたりの印刷経費は 3 円(概算)です。